

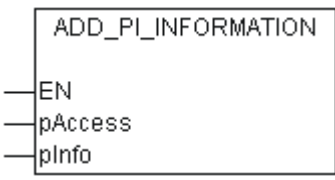
WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ

# Mod\_com.lib

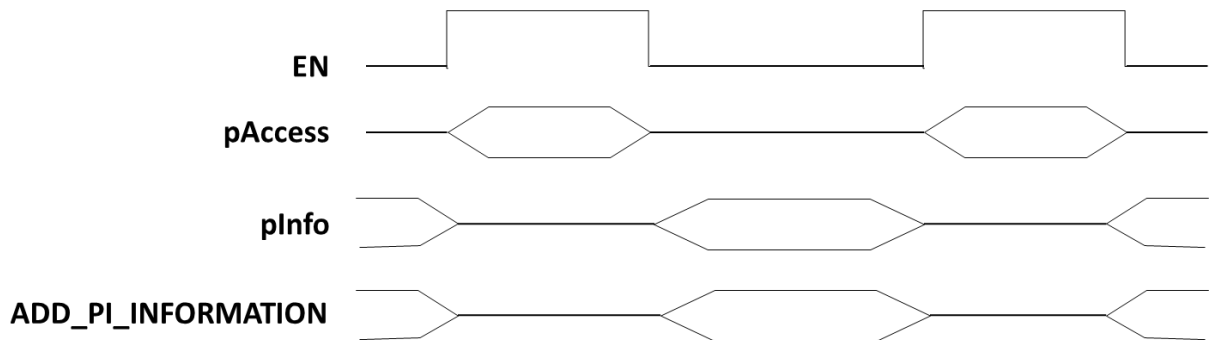
## ADD\_DESC (データ型)

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素		
カテゴリ:	PLC プロセスイメージに関する詳細情報	
名称:	ADD_DESC	
形式:	Data type ■	
ライブラリ名:	Mod_com.lib	
適用:	ADD_PI_INFORMATION	
構造:		
<b>要素:</b>	<b>データ型:</b>	<b>コメント:</b>
posPAA	WORD	PLC 出カプロセスイメージにおけるモジュールのビット位置
posPAE	WORD	PLC 入カプロセスイメージにおけるモジュールのビット位置
sizePAA	BYTE	PLC 出カプロセスイメージにおけるこのモジュールへの割当ビット数
sizePAE	BYTE	PLC 入カプロセスイメージにおけるこのモジュールへの割当ビット数
channels	BYTE	論理チャンネル数 (複合モジュールのみ)
altFormat	BYTE	0: 標準出力フォーマット 1: 代替出力フォーマット
<b>ヘッダ:</b>		
<pre> TYPE ADD_DESC :  STRUCT   posPAA : WORD;   posPAE : WORD;   sizePAA : BYTE;   sizePAE : BYTE;   channels : BYTE;   altFormat : BYTE; END_STRUCT  END_TYPE           </pre>		
<b>データ型内容:</b>		
このデータ型は構造体であり、モジュールによるより詳細なプロセスイメージ情報を提供します。		

## ADD\_PI\_INFORMATION

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	PLC プロセスイメージに関する詳細情報		
名称:	ADD_PI_INFORMATION		
形式:	Function <input checked="" type="checkbox"/>	Function block <input type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	MODBUS を除く、すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
EN	BOOL	この入力が TRUE でファンクション有効	
pAccess	POINTER TO MODULE_INFO_ ACCESS	より詳細なプロセスイメージ情報からモジュールを記述するための構造体へのポインタが決定される	
pInfo	POINTER TO MODULE_INFO	モジュールのより詳細なプロセスイメージの構造体に対するポインタを保存。複数のモジュールから情報が決定される場合には、ポインタはこの構造型の配列が転送されなければならない。この場合、フィールドの制限事項は確認されない。 構造体、あるいはこの構造体の配列は各選択の前に 0 で初期化されなければならない。	
返値:	データ型:	コメント:	
ADD_PI_INFORMATION	BOOL	FALSE: ファンクションが不正に実行された。 'pInfo'が参照する構造体 MODULE_INFO で可能なエントリが無効。 TRUE: このファンクションが成功裏に実行された。	
グラフィック表示:			
			

**ビヘイビア:**



**機能内容:**

このファンクションを使用することで、モジュールによるより詳細なプロセスイメージ情報を決定することができます。(構造体 MODULE\_INFO の要素参照)

すべての接続モジュールの情報を決定する方法例:

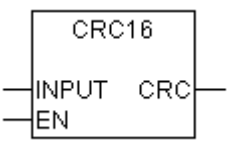
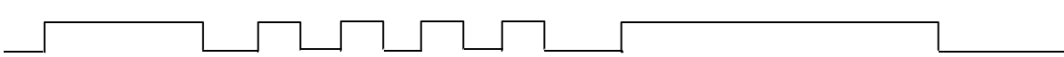
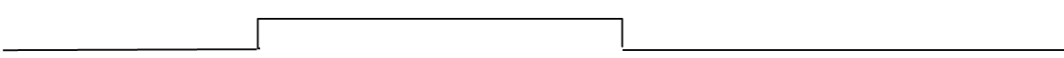

```
VAR
access : MODULE_INFO_ACCESS;
info : ARRAY[0..63] OF MODULE_INFO;
END_VAR

access.physicalPosTo := 0;
access.moduleType := 0;

ADD_PI_INFORMATION( 1, ADR(access), ADR(info[0]) );
```

ライブラリバージョン 3.0 から利用可能です。

## CRC16

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	CRC16		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
INPUT	BYTE	CRC が計算される入力バイト	
EN	BOOL	この入力の立上りでエッジファンクションブロックの初期化を送信し、最初のバイトの CRC を計算する。TRUE で CRC が以下のバイトの各々で計算される。FALSE では計算が実行されない	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
CRC	WORD	CRC の計算値。CRC 値は各呼出に続いて、この出力が存在する。	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
INPUT			
EN			
CRC			
機能内容:			
CRC16 ファンクションブロックは入力バイト数の CRC16 値を計算します。			

## FBUS\_ERROR\_INFORMATION

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	システム変数への間接アクセス		
名称:	FBUS_ERROR_INFORMATION		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
FBUS_ERROR	BOOL	この出力の TRUE でフィールドバスエラーを表示します。	
ERROR	WORD	エラー発生。エラーメッセージはフィールドバス固有です。(個々のコントローラの記述参照)	
<b>グラフィック表示:</b>			
			
<b>機能内容:</b>			
このファンクションブロックはフィールドバス通信の状態における情報を取得するのに利用できるものを提供しています。ERROR 出力の値はフィールドバス別のものです。			
インスタンスについて MODBUS で、通信モニタリング(ウォッチドッグ)の現状が表示されます(0: エラーなし、1: ウォッチドッグが "time exceeded" 検出)			

## GET\_DIGITAL\_INPUT\_OFFSET

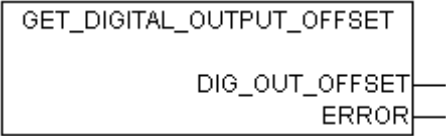
WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへのアクセス		
名称:	GET_DIGITAL_INPUT_OFFSET		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
DIG_IN_OFFSET	WORD	デジタル入力モジュールにおいてバイトアドレスで事前割当された値を埋める。許容値は 0...511。	
ERROR	WORD	故障検出。 0: 故障なし 0x8001: 与えられた値が小さすぎ、アナログデータと干渉。 0x8003: 与えられた値が大きすぎ、変数範囲と干渉 0x8005: 与えられた値が最大許容値より大きい	
<b>ヘッダ:</b>			
FUNCTION_BLOCK GET_DIGITAL_INPUT_OFFSET			
VAR_OUTPUT			
DIG_IN_OFFSET: WORD;			
ERROR: WORD;			
END_VAR			
<b>グラフィック表示:</b>			
			
<b>機能内容:</b>			
このファンクションブロックはデジタル入力の保存されたアドレスオフセットの現在値を読み込みます。値は事前にファンクションブロックで割り当てられます。			
SET_DIGITAL_INPUT_OFFSET と恒久的にコントローラに保存されます。読込値は事前割当値と同様です。故障の場合、FB の ERROR 出力が 0 でない値にセットされます。通信はコントローラとモジュール間で行われていません。この状態がコントローラの IO LED で点滅回数 1 による点滅コード 10 で表示されます。			
初期設定値はコントローラで 0 です。その値として恒久的に保存され、安全の観点から値はユーザープログラ			

ムで再び設定するようにします。

デジタル入力のビットに関する現在の開始アドレスは FB PI\_INFORMATION で照会することができます。出力 INPUTBITS\_OFFSET はその値を解放します。



## GET\_DIGITAL\_OUTPUT\_OFFSET

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへのアクセス		
名称:	GET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
DIG_OUT_OFFSET	WORD	デジタル出力モジュールにおいてバイトアドレスで事前割当された値を埋める。許容値は 0...511。	
ERROR	WORD	故障検出。 0: 故障なし 0x8002: 与えられた値が小さすぎ、アナログデータと干渉。 0x8004: 与えられた値が大きすぎ、変数範囲と干渉 0x8006: 与えられた値が最大許容値より大きい	
<b>ヘッダ:</b>			
<pre>FUNCTION_BLOCK GET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET VAR_OUTPUT   DIG_OUT_OFFSET: WORD;   ERROR: WORD; END_VAR</pre>			
<b>グラフィック表示:</b>			
			
<b>機能内容:</b>			
<p>このファンクションブロックはデジタル入力の保存されたアドレスオフセットの現在値を読み込みます。値は事前にファンクションブロックで割り当てられます。</p> <p>SET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET と恒久的にコントローラに保存されます。読込値は事前割当値と同様です。故障の場合、FB の ERROR 出力が 0 でない値にセットされます。通信はコントローラとモジュール間で行われていません。この状態がコントローラの IO LED で点滅引数 1 による点滅コード 10 で表示されます。</p> <p>初期設定値はコントローラで 0 です。その値として恒久的に保存され、安全の観点から値はユーザープログラムで再び設定するようにします。</p>			

デジタル出力のビットに関する現在の開始アドレスは FB PI\_INFORMATION で照会することができます。出力 OUTPUTBITS\_OFFSET はその値を解放します。

## KBUS\_ERROR\_INFORMATION

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	システム変数への間接アクセス		
名称:	KBUS_ERROR_INFORMATION		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
KBUS_ERROR	BOOL	この出力で TRUE は内部バスエラーを表示する。	
BITLEN	WORD	内部バスビット長	
TERMINALS	WORD	存在する点数	
ERROR	WORD		
ERROR_ARG	WORD		
FAIL_ADDRESS	WORD	内部バスエラーのイベントにおいてエラーが発生している位置を表示	
<b>グラフィック表示:</b>			
			
<b>機能内容:</b>			
このファンクションブロックは内部バスの状態および設定に関する情報を取得するのに利用できるものを提供しています。			

## MOD\_COM\_VERSION

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	MOD_COM_VERSION		
形式:	Function <input checked="" type="checkbox"/>	Function block <input type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
EN	BOOL	この入力を TRUE にすることでこのファンクション有効	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
MOD_COM_VERSION	WORD	ライブラリバージョン	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
			
機能内容:			
<p>ファンクション MOD_COM_VERSION はライブラリの現在のバージョン番号を返値します。このファンクションはプログラム開発中、情報確認で使用することができます。加えて、実行時間中にはバージョンの干渉を避けることができます。</p>			
バージョン:	内容:		
1.0	初期バージョン		
1.1	ファンクションブロック READ_OUTPUT_WORD および READ_OUTPUT_BIT を追加		
2.0	ファンクションブロック GET_DIGITAL_INPUT_OFFSET, GET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET, SET_DIGITAL_INPUT_OFFSET および SET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET を追加		

3.0	ファンクション ADD_PI_INFORMATION およびデータ型 MODULE_INFO_ACCESS, MODULE_INFO および ADD_DESC を追加
5.0	WAGO-I/O-PRO 32 Ver.2.2 SR5 と互換性。ライブラリがオンライン変更機能に対応。

## MODULE\_INFO(データ型)

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素		
カテゴリ:	PLC プロセスイメージに関する詳細情報	
名称:	MODULE_INFO	
形式:	Data type ■	
ライブラリ名:	Mod_com.lib	
適用:	ADD_PI_INFORMATION	
構造:		
要素:	データ型:	コメント:
physicalPos	BYTE	物理モジュール位置(1-64)
moduleType	WORD	モジュール型番の最後の 3 ケタ(750-xxx)
desc	ADD_DESC	より詳細な情報を構造体変数
ヘッダ:		
<pre> TYPE MODULE_INFO :      STRUCT         physicalPos : BYTE;         moduleType : WORD;         desc : ADD_DESC;     END_STRUCT  END_TYPE </pre>		
データ型内容:		
<p>このデータ型は構造体であり、モジュールについてとともに拡張プロセスイメージ情報を提供します。</p> <p>デジタルモジュールについて正確なモジュールの指定をすることはできません。理由は'module type'が以下の値の 1 つを前提としているからです：</p> <p>16#00D0: このデジタルモジュールは PLC の入力あるいは出力プロセスイメージで複数のビットを前提としていない。</p> <p>16#00D1: このデジタルモジュールは PLC の入力プロセスイメージでビットのみを占有。</p> <p>16#00D2: このデジタルモジュールは PLC の出力プロセスイメージでビットのみを占有。</p> <p>16#00D3: このデジタルモジュールは PLC の入力および出力プロセスイメージでビットのみを占有。</p>		

## MODULE\_INFO\_ACCESS (データ型)

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素		
カテゴリ:	PLC プロセスイメージに関する詳細情報	
名称:	MODULE_INFO_ACCESS	
形式:	Data type ■	
ライブラリ名:	Mod_com.lib	
適用:	ADD_PI_INFORMATION	
構造:		
<b>要素:</b>	<b>データ型:</b>	<b>コメント:</b>
physicalPosOf	BYTE	より詳細な情報からの最初のモジュールの物理位置を決定(1-64)
physicalPosTo	BYTE	より詳細な情報からの最後のモジュールの物理位置を決定(1-64)
typeName	BYTE	モジュール型の整列(1-64)
moduleType	WORD	モジュール型番の最後の 3 ケタ(750-xxx)
window	WORD	昇順における'module type'についてのウィンドウ
<b>ヘッダ:</b>		
<pre> TYPE MODULE_INFO_ACCESS :  STRUCT   physicalPosOf : BYTE;   physicalPosTo : BYTE;   typeName      : BYTE;   moduleType    : WORD;   window        : WORD; END_STRUCT  END_TYPE </pre>		
<b>データ型内容:</b>		
このデータ型は構造体であり、より詳細なプロセスイメージ情報が決定されるモジュールを表示します。		
3 つの異なるアクセス型が利用可能です:		
physicalPosTo < > 0: 'physicalPosOf'から'physicalPosTo', 'physicalPosOf'および'physicalPosTo'が同一であるかもしれないより 詳細なモジュール情報を決定する。		

physicalPosTo = 0 および moduleType < > 0:

'type number', 'module type'および'window'により指定されるより詳細なモジュール情報を決定する。

physicalPosTo = 0 および moduleType = 0:

すべての接続モジュールのより詳細な情報を決定する。

例:

3番目に接続されているモジュール型番 750-650/651/652/653 の情報を決定する。

```
physicalPosTo = 0
```

```
typeName = 3;
```

```
moduleType = 650;
```

```
window = 3;
```



## PI\_INFORMATION

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	PI_INFORMATION		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
ANALOG_OUTLENGTH	WORD	アナログ出力ビット数	
ANALOG_INLENGTH	WORD	アナログ入力ビット数	
DIGITAL_OUTLENGTH	WORD	デジタル出力ビット数	
DIGITAL_INLENGTH	WORD	デジタル入力ビット数	
OUTPUTBITS_OFFSET	WORD	バイト数	
INPUTBITS_OFFSET	WORD	バイト数	
グラフィック表示:			
			
機能内容:			
このファンクションブロックはプログラマにプロセスイメージの構造に関する情報を得るための方法を提供します。			

## READ\_INPUT\_BIT

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	READ_INPUT_BIT		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
WORD_ADDRESS	WORD	プロセスイメージでビットをワードアドレスに変換	
BIT_ADDRESS	WORD	ワードにおいてビット位置に変換	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
VALUE	BOOL	読込ビットの現在値	
ERROR	BOOL	TRUE の場合、エラーが発生。 許容できないアドレスがある可能性。それ以外は FALSE	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
WORD_ADDRESS			
BIT_ADDRESS			
VALUE			
ERROR			
機能内容:			
<p>このファンクションブロックはプログラマにプロセスイメージへの間接アクセスの方法を提供します。入力ビットの現在値が直ちに出力でFBを起動後に利用可能にされます。ファンクションブロックはここではIEC 61131-3のガイドライン“すべてのアドレスはプログラム時および実行時間中に割り当てられる”が順守にされないことに従って特に使用されなければなりません。</p>			

## READ\_INPUT\_WORD

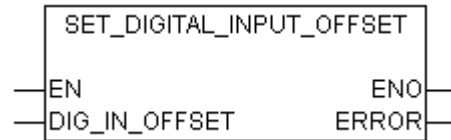
WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	READ_INPUT_BIT		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
WORD_ADDRESS	WORD	プロセスイメージでビットをワードアドレスに変換	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
VALUE	BOOL	読込ビットの現在値	
ERROR	BOOL	TRUE の場合、エラーが発生。 許容できないアドレスがある可能性。それ以外は FALSE	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
			
機能内容:			
<p>このファンクションブロックはプログラマーにプロセスイメージへの間接アクセスを可能にします。出力ワードの現在値はFB呼出後すぐに利用可能にされます。ファンクションブロックは“すべてのアドレスはプログラミングの際、そして実行時間中に割り当てられる”が順守されないIEC 61131-3のガイドラインがここでは特に注意して使用されなければなりません。</p>			

## READ\_OUTPUT\_WORD

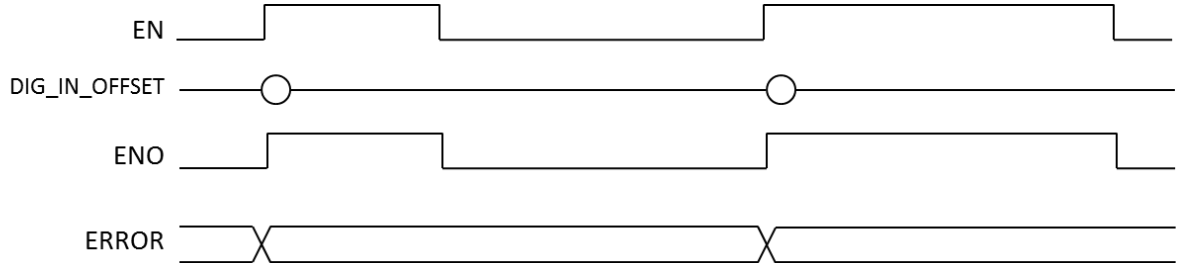
WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	READ_OUTPUT_BIT		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
WORD_ADDRESS	WORD	プロセスイメージでビットをワードアドレスに変換	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
VALUE	BOOL	読込ビットの現在値	
ERROR	BOOL	TRUE の場合、エラーが発生。 許容できないアドレスがある可能性。それ以外は FALSE	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
			
機能内容:			
<p>このファンクションブロックはプログラマーにプロセスイメージへの間接アクセスを可能にします。出力ワードの現在値はFB呼出後すぐに利用可能にされます。ファンクションブロックは“すべてのアドレスはプログラミングの際、そして実行時間中に割り当てられる”が順守されないIEC 61131-3のガイドラインがここでは特に注意して使用されなければなりません。</p>			

## SET\_DIGITAL\_INPUT\_OFFSET

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへのアクセス		
名称:	SET_DIGITAL_INPUT_OFFSET		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
EN	BOOL	FB 実行制御。ファンクションブロックは EN の立上りエッジで実行。	
DIG_OUT_OFFSET	WORD	デジタル出力モジュールのビットで構成されるバイトアドレス。許容範囲は 0...511。0 の割当てでデジタル入力は、アナログモジュールが存在する場合、アナログモジュールの直後に保存	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
ENO	BOOL	FB 実行結果。EN が TRUE と同様 ENO も TRUE。	
ERROR	WORD	故障検出。 0: 故障なし 0x0001: 機能未サポート 0x8001: 与えられた値が小さすぎ、アナログデータと干渉。 0x8003: 与えられた値が大きすぎ、変数範囲と干渉 0x8005: 与えられた値が最大許容値より大きい	
<b>ヘッダ:</b>			
FUNCTION_BLOCK SET_DIGITAL_INPUT_OFFSET			
VAR_INPUT			
EN: BOOL;			
DIG_IN_OFFSET: WORD;			
END_VAR			
VAR_OUTPUT			
ENO: BOOL;			
ERROR: WORD;			
END_VAR			
<b>グラフィック表示:</b>			



**ビヘイビア:**



**機能内容:**

このファンクションブロックはデジタル入力のアドレスオフセットの現在値を設定します。次の PLC サイクル中に入力 PA を書込む際に、変更された設定が使用されます。値は恒久的にコントローラに保存されます。

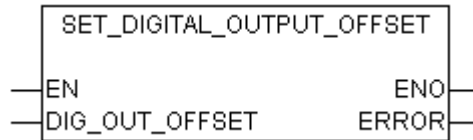
無効なオフセット値を入力すると、コントローラは点滅コード 10 の点滅引数 1 を送信します。コントローラとモジュール間のデータ交換は中止されます。

初期設定値はコントローラで 0 です。その値として恒久的に保存され、安全の観点から値はユーザープログラムで再び設定するようにします。

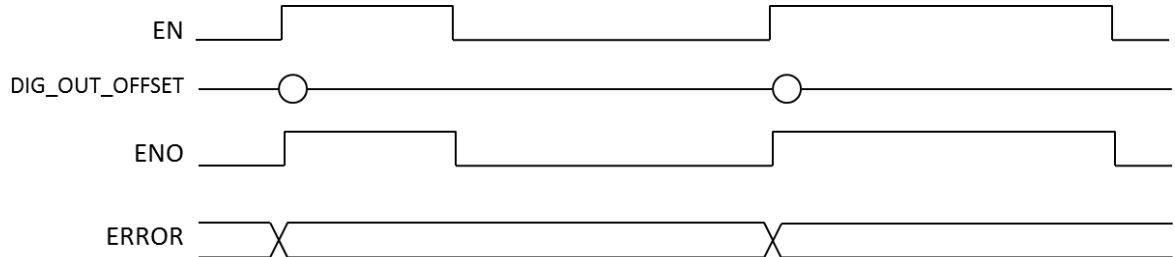
保存された値は FB GET\_DIGITAL\_INPUT\_OFFSET で読み込むことができます。デジタル出力のビットに関する現在の開始アドレスは FB PI\_INFORMATION で照会することができます。出力 INPUTBITS\_OFFSET はその値を解放します。

## SET\_DIGITAL\_OUTPUT\_OFFSET

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへのアクセス		
名称:	SET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
EN	BOOL	FB 実行制御。ファンクションブロックは EN の立上りエッジで実行。	
DIG_OUT_OFFSET	WORD	デジタル出力モジュールのビットで構成されるバイトアドレス。許容範囲は 0...511。0 の割当てでデジタル出力は、アナログモジュールが存在する場合、アナログモジュールの直後に保存	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
ENO	BOOL	FB 実行結果。EN が TRUE と同様 ENO も TRUE。	
ERROR	WORD	故障検出。 0: 故障なし 0x0001: 機能未サポート 0x8002: 与えられた値が小さすぎ、アナログデータと干渉。 0x8004: 与えられた値が大きすぎ、変数範囲と干渉 0x8006: 与えられた値が最大許容値より大きい	
<b>ヘッダ:</b>			
FUNCTION_BLOCK SET_DIGITAL_OUTPUT_OFFSET			
VAR_INPUT			
EN: BOOL;			
DIG_OUT_OFFSET: WORD;			
END_VAR			
VAR_OUTPUT			
ENO: BOOL;			
ERROR: WORD;			
END_VAR			
<b>グラフィック表示:</b>			



**ビヘイビア:**



**機能内容:**

このファンクションブロックはデジタル出力のアドレスオフセットの現在値を設定します。次の PLC サイクル中に出力 PA を書込む際に、変更された設定が使用されます。値は恒久的にコントローラに保存されます。

無効なオフセット値を入力すると、コントローラは点滅コード 10 の点滅引数 2 を送信します。コントローラとモジュール間のデータ交換は中止されます。

初期設定値はコントローラで 0 です。その値として恒久的に保存され、安全の観点から値はユーザープログラムで再び設定するようにします。

保存された値は FB GET\_DIGITAL\_OUTPUT\_OFFSET で読み込むことができます。デジタル出力のビットに関する現在の開始アドレスは FB PI\_INFORMATION で照会することができます。出力 OUTPUTBITS\_OFFSET はその値を解放します。



## SLAVE\_ADDRESS

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	SLAVE_ADDRESS		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
SLAVE_ADDRESS	BYTE	現在のノードアドレス	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
機能内容:			
このファンクションブロックはプログラマーにプログラマブルフィールドバスコントローラ上のアドレス設定にアクセスすることを可能にします。アドレスはFB呼出時に利用可能になります。			

## WRITE\_OUTPUT\_BIT

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	WRITE_OUTPUT_BIT		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
WORD_ADDRESS	WORD	ここでワード形式のワードアドレスをプロセスイメージに転送	
BIT_ADDRESS	WORD	ここでワード形式におけるビット位置を転送	
VALUE	BOOL	書込値	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
ERROR	BOOL	エラーが発生の場合、TRUE。 許容できないアドレスがある可能性。それ以外は FALSE	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
			
機能内容:			
<p>このファンクションブロックはプログラマーにプロセスイメージへの間接アクセスを可能にします。出力ワードの現在値はFB呼出後すぐに利用可能にされます。ファンクションブロックは“すべてのアドレスはプログラミングの際、そして実行時間中に割り当てられる”が順守されないIEC 61131-3のガイドラインがここでは特に注意して使用されなければなりません。</p>			

## WRITE\_OUTPUT\_WORD

WAGO-I/O-PRO CAA ライブラリ要素			
カテゴリ:	プロセスイメージへの間接アクセス		
名称:	WRITE_OUTPUT_WORD		
形式:	Function <input type="checkbox"/>	Function block <input checked="" type="checkbox"/>	Program <input type="checkbox"/>
ライブラリ名:	Mod_com.lib		
使用ライブラリ:			
適用:	すべてのフィールドバスコントローラ		
入力パラメータ:	データ型:	コメント:	
WORD_ADDRESS	WORD	ここでワード形式のワードアドレスをプロセスイメージへ転送	
VALUE	WORD	書込値	
出力パラメータ:	データ型:	コメント:	
ERROR	BOOL	エラーが発生の場合、TRUE。 許容できないアドレスがある可能性。それ以外は FALSE	
グラフィック表示:			
			
ビヘイビア:			
			
機能内容:			
<p>このファンクションブロックはプログラマーにプロセスイメージへの間接アクセスを可能にします。出力ワードの現在値はFB呼出後すぐに利用可能にされます。ファンクションブロックは“すべてのアドレスはプログラミングの際、そして実行時間中に割り当てられる”が順守されないIEC 61131-3のガイドラインがここでは特に注意して使用されなければなりません。</p>			